

2025年7月31日

「小説×街歩き」体験コンテンツ 第2弾 「あの駅に願いをこめて」第3話 仙川編を公開します！

8月2日（土）から小説冊子を無料配布！

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村 智史、以下「京王電鉄」）は、株式会社休日ハック（本社：東京都台東区、代表取締役：田中 和貴、以下「休日ハック」）と共同で、「小説×街歩き」体験コンテンツ第2弾「あの駅に願いをこめて」の第3話「仙川編」を7月31日（木）14時から専用サイトで一部公開します。

「あの駅に願いをこめて」は、京王沿線を舞台にした短編小説シリーズで、小説家の岩井圭也氏が書き下ろした完全オリジナルストーリーの「小説×街歩き」体験コンテンツです。

物語の全容が描かれた、本短編小説の「冊子」は、8月2日（土）から物語の舞台となる仙川駅や周辺の施設などで無料配布します。



《メインビジュアルイメージ》



《冊子イメージ》

本件のポイント

- ① 小説×街歩き体験コンテンツ「あの駅に願いをこめて」第1話「吉祥寺編」、第2話「南大沢編」に続く第3弾「仙川編」を7月31日（木）14時から一部を専用サイトで公開。物語の全容が描かれた本短編小説の「冊子」は、8月2日（土）から仙川駅構内チラシラック横、啓文堂書店（一部店舗）などで無料配布
- ② 小説に登場する仙川駅付近の複数店舗、フレンテ仙川の対象店舗で使えるおトクな限定クーポン付き、冊子内の二次元コードからは、仙川にゆかりのある桐朋女子中・高等学校放送部OGの方による小説の朗読も楽しめる
- ③ 足と耳で物語を「体験」する、「新たな小説の楽しみ方」ができるコンテンツの提供を通じて、沿線の魅力発見および移動需要に創出につなげる

1. 「あの駅に願いをこめて」について

(1) 概要

小説家の岩井圭也氏による、京王沿線の駅や街、実在する商店街・店舗などの地域コンテンツが盛り込まれた、オリジナル短編小説を用いた「小説×街歩き」体験コンテンツの第2弾です。本短編小説は、専用サイトでも途中まで電子書籍として無料公開します。

(2) 短編小説テーマ・あらすじ

～テーマ～

2024年秋、SNSである都市伝説が流れる。

「路上で『紺色の封筒』を拾い、そのなかの手紙に記された謎を解決すれば夢が叶う」偶然にも『紺色の封筒』を拾った5人の男女は、各々の夢を叶えるため謎に挑戦する。

～「仙川編」あらすじ～

見習い料理人・園田悠那は、料理長から新メニュー開発を任されたものの、思うように進まない毎日に悩んでいた。そんなある日、駅前の石のベンチで謎の紺色の封筒を拾う。

“謎を解けば願いが叶う”という都市伝説を半信半疑のまま頼りに、仙川の街を巡ることに。街に刻まれた思い出と味が、やがて彼女の一皿を静かに形づくっていく――。

(3) 専用サイト

公式HP：<https://anoeki.keionovel.com/>

(4) 冊子情報

公開日：8月2日（土）

判型規格：A6判サイズ、本文37ページ（WEB公開は12ページまで）

配布部数：50,000部限定。なくなり次第終了。

① 【京王線仙川駅】

配布時間：初電～終電

配布場所：改札内チラシラック横

② 【啓文堂書店】

配布店舗：府中本店・高幡店・高尾店・多摩センター店・橋本駅店・稲田堤店・仙川店・八幡山店・渋谷店・吉祥寺店・久我山店・永福町店

配布時間：各店の営業時間に準ずる。詳しくはHPをご覧ください。

※7月31日現在の情報です。

※啓文堂書店公式HP：<https://www.keibundo.co.jp/>

③ 【トリエ京王調布】

A館1階正面口ラック：9：00～23：00

※トリエ京王調布公式HP：<https://trie-keiochofu.jp/>

④ 【調布市役所】

配布時間：8：30～17：00（平日のみ）

配布場所：8階産業振興課

※調布市役所HP：<https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

(5) 楽しみ方

① （4）の配布場所のいずれかに行き、短編小説の冊子を手に入れる。

② 主人公が移動した道のりをたどりながら、仙川エリアを散策する。

※小説の途中で投げかけられる問いを推理しながら、物語の真相を明らかにしていただきます。

※推理をせず、読み物として最後までお楽しみいただくことも可能です。

③ 仙川駅を目指す電車の中や、仙川駅周辺施設で小説の朗読を聞くことも可能。

(6) 著者紹介・コメント

岩井圭也（いわい・けいや）

作家。1987年生まれ。大阪府出身。2018年、「永遠についての証明」で第9回野性時代フロンティア文学賞を受賞しデビュー。著書に『文身』『最後の鑑定人』などがある。2024年、『われは熊楠』で第171回直木賞にノミネートされる。



岩井圭也氏のコメント

みなさんは、仙川という街にどんなイメージをお持ちでしょうか？

本編を読んでいただければ、きっと仙川へのイメージが更新されると思います。 撮影・橋本龍二

(7) 朗読者紹介・コメント

吉田 識央（よしだ しお）

2006年生まれ。仙川駅 桐朋女子中・高等学校放送部OG。

現在も学生コーチとして同部に所属。

吉田識央さんのコメント

中学1年生から高校3年生までの6年間通った仙川駅なので、収録の際も思い出がよみがえり、懐かしい気持ちになりました。私の地元である吉祥寺も舞台になっているこのシリーズに携わることができ、とても光栄です。

2. 啓文堂書店 仙川店限定「サイドストーリー」の公開について

配布期間中、啓文堂書店 仙川店（フレンテ仙川2階）に、物語の背景や登場人物の魅力をよりお楽しみいただける「サイドストーリー」が読める二次元コードを掲出いたします。

本編を読み終わったら、ぜひ啓文堂書店 仙川店へお越しください。

※7月31日現在の情報です。

【掲出場所】

店舗入口付近・レジ後ろのコーナーにて掲出

【営業時間】

平日 10:00～22:00

土・日祝 10:00～21:00

3. 仙川駅周辺で使えるおトクな限定クーポンについて

小説に登場する仙川駅付近の複数店舗、フレンテ仙川の対象店舗で使えるおトクな限定クーポンを使って、街歩きをお楽しみください。詳細は小説冊子巻末をご覧ください。

※クーポンのご使用はお一人様1回限り

4. 調布市制施行70周年記念「いつも駅からだった」調布編の再配布について

仙川編の舞台でもある調布市の市制施行70周年を記念し、2023年冬に配布終了した「小説×街歩き」体験コンテンツ第1弾「いつも駅からだった」調布編を期間限定で再配布します。

【配布場所】

- ・トリエ京王調布A館1階正面ロラック
- ・仙川駅改札内チラシラック

【配布期間】

10月1日（水）～なくなり次第終了

5. 「あの駅に願いをこめて」に関するお問い合わせ先

株式会社休日ハック お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/fLfFWAZUTobqaKz77>

【参考1】第1弾「いつも駅からだった」について

2023年3月から2024年5月まで実施した「小説×街歩き」体験コンテンツ第1弾。下北沢編、高尾山口編、調布編、府中編、聖蹟桜ヶ丘編の全5話に渡り、心温まる物語を無料配布し、累計配布部数は9万部以上となり、全5話を1冊にした書籍を全国の書店で販売中です。

公式HP：<https://keionovel.com/>

【参考2】株式会社休日ハックについて

- | | |
|----------|---|
| (1) 会社名 | 株式会社休日ハック |
| (2) 代表者 | 田中 和貴 |
| (3) 所在地 | 東京都台東区蔵前1-3-28 |
| (4) URL | https://www.machihack.com/ |
| (5) 事業内容 | 体験型サービスの企画、開発、販売 |
| (6) 設立 | 2020年2月18日 |

